

(参考)

産地パワーアップ事業  
都道府県事業評価参考様式

都道府県名 熊本県

○ 産地パワーアップ計画

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物名	取組内容	成果目標	現状値		目標値		実績値		価格補正後の実績値	達成率	都道府県の評価
						年度		年度		年度				
熊本地域農業再生協議会	6	西部・天明・飽田地区	茄子	・低コスト耐候性ハウス及び複合環境整備装置の導入 ・栽培講習会等の実施	10a当たり販売額の10%を超える増加	H30	6,508千円/10a	R5	7,116千円/10a	R5	6,680千円/10a	6,140千円/10a	-55.9%	低コスト耐候性ハウスにより台風時期を含めた栽培体系での安定生産、ハウス内環境最適化による品質の向上に向けて生産努力を行ったが、例年になく高温の影響で樹勢低下並び品質低下となり目標達成とはならなかった。今後は遮光資材の導入を行うなど、収量・品質向上に努め目標を達成してほしい。
植木町地域農業再生協議会	2	熊本市北区植木町	施設果樹 (ハウスみかん、不知火類、ハウススモモ)	・資材、リース機械の導入による品質及び生産量の増加 ・部会における技術指導、新植・定期的な改植、他事業による高品質化資材・機械等の活用による品質・生産量の向上	10a当たり販売額の6%以上増加	R2	1,693,738円/10a	R5	1,798,923円/10a	R5	1,711,786円/10a	1,547,535円/10a	-139.0%	目標を達成していない要因は、生産量の低下もあるが、不知火類の上位等級品率が令和5年産は25.2%と、現状値の38.6%より13.4%低く、目標値の39.1%に届かなかった。 今後の対策としては、不知火類に重点をおいて適期に水管理等を実施し、品質の向上を目指すことにより販売単価の向上を図る。
植木町地域農業再生協議会	3	熊本市北区植木町原坂地区	施設野菜 (スイカ)	集出荷貯蔵施設の導入	10a当たり販売額の6%以上の増加	R2	618,469円/10a	R5	660,042円/10a	R5	698,664円/10a	665,826円/10a	113.9%	集出荷施設の整備を行ったことで、スイカの一元集荷体制が構築され有利販売に繋がって目標を達成した。今後も出荷組合の計画生産に取り組み、出荷量増加及び製品品質の向上につなげてほしい。

玉名市地域 農業再生協 議会	7	横島地区 他	茄子	低コスト耐候性ハウスの整 備	10a当たり販売額の 10.1%を超える増加	R1	6,259,992円/10a	R5	6,892,613円/10a	R5	6,072,944円/10a	5,848,245円/10a	-65.0%	低コスト耐候性ハウス及び機械の 導入により、ナス生産の品質向上 や、面積の拡大ができてはいるも の、厳寒期の天候不順が生育 に大きく影響し、目標達成に至らな かった。今後は関係機関からの協 力等を得ながら、栽培技術の向上 を目指し、目標達成に向けて取り 組んでほしい。
玉東町地域 農業再生協 議会	1	玉東	小麦	大規模経営に対応した農 業機械のリース導入	単位面積当たり販売 額の6%以上の増加	R2	5,127円/10a	R5	5,435円/10a	R5	8,347円/10a	5,693円/10a	183.8%	当該産地では実需者の要望に応 じた麦の生産を行っており、機械 導入により適期作業が可能となっ たことで収益の向上が図られた。
長州町農業 再生協議会	4	長州町	小麦	大型農業機械の導入、適 切な土づくり、適期播種、 排水対策、中間管理、適期 防除、適期収穫のための 農業機械の導入、地域に 適した農地の集積・集約及 び営農指導、適期作業の 徹底	単位面積当たり販売 額の6%を超える増加	R2	5,745円/10a	R5	6,090円/10a	R5	6,116円/10a	5,198円/10a	-158.5%	機械の導入により各種作業の効 率化が図られ、適期の作業が可能 となったが、気象の影響により苗 立ち不良や生育不足が散見され る状況となり、目標は未達となっ た。地域単収の向上に向けて栽培 指導が必要である。
大津町農業 再生協議会	3	大津町 高森町 阿蘇市 菊池市 西原村	大豆 ばれいしょ	・コスト削減に向けた高性 能な農業機械のリース・導 入 ・雨よけハウス等、高付加 価値化に必要な生産資材 の導入	総販売額の6%を超え る増加	R2	5,426,897円/10a	R5	36,528,000円/10a	R5	40,121,656円/10a	-	111.5%	当該産地では実需者との直接契 約を行っており、実需の要望に応 じて大豆及びばれいしょの生産拡 大を実施。面積については目標を 達成していないものの、機械の導 入により、単収及び品質が向上し た結果、販売額の目標を達成して いる。

阿蘇市地域 農業再生協 議会	4	阿蘇市	アスパラガス	高精度、高速処理能力の 高い選果機を導入。	10a当たりの販売額 の6%を超える増加	R2	2,952,314円/10a	R5	3,262,477円/10a	R5	2,888,082円/10a	2,979,567円/10a	8.7%	本事業で導入した選果機により、 販売額の向上に繋がっているが、 天候が不順で高温傾向となり、出 荷量・単価も伸び悩んだため目標 未達成となっている。今後は、関 係機関からの技術的支援を得な がら、栽培管理の徹底を図ること で、成果目標の達成してほしい。
御船町地域 農業再生協 議会	1	御船町	小麦	経営規模に対応した農業 機械を導入し、適期作業 (播種、中間管理、収穫)に よる収量アップ・品質の向 上を図り、コスト削減を目指 す。	単位面積当たり販売 額の6%を超える増加	R2	6,642円/10a	R5	7,056円/10a	R5	8,663円/10a	7,363円/10a	174.2%	基幹作業の遅れが問題となってい たが、機械の導入により作業効率 が上がり、面積の拡大と生産性の 向上が図られた。単収及び品質が 向上したことで、販売額の向上に 繋がり、目標を達成している。
嘉島町地域 農業再生協 議会	2	嘉島	小麦	適期播種のための耕起作 業の効率化、適期防除・適 期除草の実施、収量安定 及び品質向上のための排 水対策、収穫作業の高速 化による適期収穫作業の 実施	総販売額の10%以上 の増加	R2	43,430,400円/10a	R5	47,816,250円/10a	R5	51,033,674円/10a	42,528,061円/10a	-20.5%	機械の導入により作業効率化や 排水対策が実施され単収が向上 したが、収穫時期の降雨により等 級が低下し、販売額の目標が達成 できなかった。適期収穫のため、 排水対策徹底を指導し、品質の改 善による販売額の向上を見込んで いる。
八代市農業 再生協議会	10	八代市北 出地区	水稲	高性能コンバインの導入に より、適期かつ効率的な収 穫を行い、またポット移植 機の活用や栽培技術の向 上を図ること及びドローン を導入し防除を行うことに より、労働時間を削減し、 適期防除により病害虫等 による収量減少を防ぐこと により、水稲の10a当たり販 売額の10%以上の増加を 実現する。	10a当たり販売額の 10%以上の増加	H30	82,470円/10a	R5	92,065円/10a	R5	85,714円/10a	94,700円/10a	127.4%	導入機械により適期作業が可能と なり、単収が向上したことで10a当 たりの販売額の目標を達成するこ とができた。また、経営判断による WCSへの転換により面積が減少し たが、R7年産では主食用水稲の 作付面積の回復が見込まれ、更 に作業受託による面積拡大の計 画もあり、目標達成が見込まれて いる。面積目標達成に向けては引 き続き地域部会等と連携を取りな がら指導を行う。

八代市農業再生協議会	11	宇城市 八代市 氷川町	いぐさ	生産性の向上・高品質化の推進 ① 生産性の向上(省力化、低コスト化のための移植機導入、涼風等高収量品種への転換)の取組 ② 高品質化(ひのみどり等高品質品種の導入、生産・加工技術向上のための研修会の開催)の取組	10a当たり販売額の10%以上の増加	H30	868,498円/10a	R5	955,625円/10a	R5	1,028,921.0円/10a	-	184.1%	機械の導入による量表の高品質化が単価および販売額の向上に寄与した。 今後も高品質量表の生産を支援していく。
水上村農業再生協議会	1	水上村本野地区	水稻	ドローン導入による防除を行うことで、適期防除により病害虫等による収量減少を防ぎ、販売金額の増加を図る。	販売金額の15%以上の増加	R1	68,354円/10a	R5	78,742円/10a	R5	80,530円/10a	89,565円/10a	204.2%	ドローンを活用した適期防除により、収量が向上したことで、販売金額の目標を達成している。

(3) 契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物名	取組内容	成果目標	現状値		目標値		実績値		価格補正後の実績値	達成率	都道府県の評価
						年度		年度		年度				
熊本地域農業再生協議会	13	飽田地区	施設野菜(ナス、ピーマン)	収益性の高い野菜産地形成の促進	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上	R1	2.8%	R5	50.1%	R5	10.8%	-	16.9%	令和5年度については、青枯れ病の発生により収量減となり目標達成には至らなかった。今後は関係機関から技術的支援等の協力を仰ぎ、安定生産を図るとともに、引き続き新規契約取引の確保に向けて、積極的に商談を進めることで目標達成に向けて取り組んでほしい。
熊本地域農業再生協議会	14	川口地区	菌床きくらげ	その他地域特産(菌床きくらげ)の菌類栽培施設を整備し、作付面積拡大、生産量拡大を図る。	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上	R1	59.8%	R5	96.0%	R5	96.0%	-	100.0%	今回の施設整備により、出荷量・品質ともに安定した出荷が可能となり、販売額の向上に結びついた。今後も更なる販売額の向上に向けて、取り組んでほしい。

(注) 1. 本表は、要領第16の4により、都道府県が改善措置の指導が必要とした地域協議会のうち、成果目標の達成率が90%に満たなかった地域協議会  
 2. 実績欄は、地域(県又は国を含む)の販売単価による価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。